

【平成23年度 第2回】

鎌ヶ谷市図書館協議会の議事録

- 日 時： 平成23年11月21日(月) 午後2時～4時
- 場 所： 図 書 館 3階保育室
- 出席委員： (敬称省略) 濱田 友助、浜口 貞美、伊藤 眞由美、瀬田 信之、
(8名) 渡辺みどり、野村 恵、小茂田 茂、樋口 美佐子
<欠席者2名>=河永 光代、村上 千都子
- 市 側： 山中副参事(事) 生涯学習推進課長、石原主幹、
三宅館長、山本主査、担当(高瀬)
- 議事録署名人： 瀬田信之、 渡辺みどり
- 会議傍聴者： なし

平成23年度第2回 鎌ヶ谷市図書館協議会
< 会 議 次 第 >

- 1, 委員長挨拶
- 2, 市側挨拶
- 3, 平成23年度の事業推進状況の報告
- 4, 視察結果の報告(東京都文京区:水道端図書館)
- 5, 事業仕分け結果からの改善点(質と専門性を高めるために)
- 6, その他(配布資料の説明)
- 7, 次回(平成24年2月13日)日程の確認について
- 8, 閉 会

○ 会議概要

1, 委員長挨拶

過日、市役所では事業仕分けが行われ、図書館もその対象になったとお聞きしました。その結果も報告願ひ、今後の図書館のより一層の充実を図るため、委員の皆様には、活発なご意見をお願いします。

2, 市側挨拶(山中課長)

- 東日本大震災に伴う福島原発の放射能問題では、既に市では、学校・通学路・公園など子供達が直接関わる場所を中心に除染作業にあたっています。詳細は今後もホームページ等で市民へ公開していきます。
- 先日の東京・水道端図書館の視察では、委員長をはじめ参加委員の皆さまはご苦勞様でした。
- 平成23年10月2日に市役所で事業仕分けを開催しました。
「図書館の管理運営に要する経費」も対象となり、これまで図書館が取り組んできたことが審議され、ある一定の評価を受けました。

3, 平成23年度事業計画推進状況について(配布資料に沿って説明)

今年度は、学校側の賛同を得てブックトークに初めて取り組みました。また、利用環境の向上のため、交付金を活用し、図書館の1階の閲覧コーナーに長いすや学習室の勉強机など、備品の充実をも図ることができました。

- ブックトークの取り組み平成23年10月18日(火) 東部小学校5年2組で実施
- 子ども科学遊び講座 平成23年 8月 4日(木) 風力発電 31名参加
- 読書活動推進事業(平成23年6月2日、7月7日、9月16日)3回実施 計78名参加
- 本のリサイクル (平成23年10月28日、29日) 528人来館
(雑誌:1, 927冊・図書2, 801冊) 4, 728冊配布
- 読書講演会平成23年10月22日「エクストリームアイロニングから学んだこと」
講師 松澤 等 氏 参加者 21名
- 平成22年度地域活性化交付金「住民生活に光をそそぐ交付金」活用事業
(図書館内の備品の充実) 長椅子・学習机・学校等団体貸出コンテナ等

…………… (質 疑 応 答) ……………

【質 問】 地域活性化交付金の交付はどこから、また交付額はいくらですか。

(回 答) 国からの交付金1, 783万円(1, 000万円=平成23年度図書購入費を前倒し。200万円=児童図書購入費分、583万円=備品購入費)です。この交付金は、今回1回限りです。

【質 問】 ブックトークは、今年度1回限りで終わりですか。

(回 答) 3学期に学校側の協力が得られれば、もう1回実施を検討しています。

【質 問】 ブックトークは、東部小学校以外の学校にも協力を求めていくのですか。

(回 答) 始めたばかりで準備も充分でなく、今後、少しずつ拡大していく予定です。

4, 視察結果の報告(水道端図書館) <浜口副委員長より報告>配布資料で説明

- ① 文京区では800m毎に図書館分館を配置していました。
- ② 分館なのだから、一階玄関入るとすぐに児童図書が並び広く感じました。
- ③ 外国絵本が多いことが、水道端図書館の特徴でした。
- ④ 民間指定管理者でありながら、学校司書教諭がいない近隣2小学校の図書館の管理運営をまかされていました。
- ⑤ 委託業者スタッフは、学校図書館や大学図書館で従事した経験者たちでした。
- ⑥ 本を通して学校・地域を結びつける役割を図書館が果たしていました。
- ⑦ 民間委託業者に公的図書館の管理を委託することはどうなのでしょう。
- ⑧ 鎌ヶ谷市の場合は、行政が管理した方が市民にとっては安心できる図書館ではないかと思いました。
- ⑨ 文京区は分館が指定管理制度、本館は業務委託で行っていました。

…………… (質 疑 応 答) ……………

【質 問】 先進地の図書館には視察によく行くが、鎌ヶ谷市は視察先での良い点を導入したりする考えはないのですか。

(回 答) 鎌ヶ谷市とかけ離れた葛飾区立中央図書館のような例は、導入できないが、今回の水道端図書館は、手作り感のある暖かい感じの図書館でした。来館者がホッとしたり、暖かい感じを抱かせる図書館づくりであり、これは鎌ヶ谷市でも出来そうです。できることから導入を検討したいと思います。

【要 望】 先進地視察で得た良い点を鎌ヶ谷市でも取り入れるように検討願い、また取り入れたらこの協議会へ報告していただきたいと要望します。

【意 見】 水道端図書館は分館でした。環境も規模も違いますが、鎌ヶ谷市でも分館の充実をもう少し考えてみたらどうかと思いました。

5, 事業仕分け結果からの改善点 (質と専門性を高める方策) <山中課長>

平成23年10月2日に「鎌ヶ谷市事業仕分け」が行われ、図書館も対象となりました。まず、最初5分間で次のような事業概要を説明しました。

- 既に平成17年度より一部の業務を民間事業者へ委託し、職員数を削減して経費の削減を図るとともに、利用時間の延長や開館日を増やすなど市民サービスの向上を図っていること。
- また、専門職である司書を委託前の3名から7名へ増加したことにより、レファレンスサービス等の向上を図っていること。その結果、市民アンケートでは94.7%の方々から「満足・ほぼ満足」との回答を受けていること。
- 図書館のめざす方向は、市域に分館を含め6つの図書館を配置していることから、「下駄履きで来れる身近な図書館」「自宅の本棚・本箱代わりに利用できる図書館」を目指している。また、小さな図書館であっても児童図書の充実を図っていること。

仕分け人からは、

- 貸出数を高めれば、ベストセラー書籍を並べればあっという間に利用率は高まる。しかし、利用率増進だけを捉えると、本来、市が独自に確保しなければならない歴史、文学、郷土史など図書館がそろえておかなければならない書籍に限られた予算内では購入できなくなることから、一人当たりの貸出数には絶対にこだわらないでほしい。
- 鎌ヶ谷市程度の規模だと、指定管理者制度を導入しても経費削減効果は期待できない。しかし、図書館業務で一番大切なのは、どういう図書・本を貸し出し、収集提供するのかということ、これにはかなり高度な専門性を必要とする。これをいくら職員がやろうとしても、何年かでぐるぐる回る人事異動では、維持が難しいです。まず市は、はっきり運営方針を立てて、それを長期契約で契約した委託業者へ任せられるのであれば、指定管理にこだわる必要はない。などのご意見をいただきました。

今回の事業仕分けでの論点を整理すると、「鎌ケ谷市の図書館は、質的向上を目指して欲しい」というのが結論であったと理解しています。

そこで、図書館協議会の委員の皆様には、今後この鎌ケ谷市の図書館として、質的向上をどう図っていけばよいのか、ご意見を願います。

……………（ 質 疑 応 答 ）……………

- 【意 見】 私は事業仕分けを見学しましたが、山中課長のようにはっきりと明確に説明できたことがよかったのではないですか。他の事業では、担当者の回答が答えきれていない会場が多かった。事業仕分けの議事録を読んでみて、明確に説明したことが、鎌ケ谷市の図書館は良くやっているという印象を、仕分け人やコーディネーターが持たれたのではと思います。
- 【議 長】 先ほど市から質的向上のためにはどうしたらよいかとの意見を求められましたが、今日すぐに回答するのは難しいと思います。次回までに少し調べたりして、ご意見を申し上げたいと思いますが、皆さん、この点についていかがですか。
- 【意 見】 事業仕分けでは、貸出業務などは民間に任せたらいい。職員の専門性はグルグル回るから駄目だと仕分け人が言っていましたが、やはり図書館という施設、市民の知る権利の館は、やはり公的職員がきちんと守り、管理すべき性格の業務だと思います。そのひずみをどう埋めるか、職員の専門性をどう育てるかが大事なことで継続してやる課題だと思いました。
- （回 答） 人材の育成は簡単に出来るのではなく、現在の職員研修や、司書資格を持つ職員を異動させて研修するなど、今後も人事部局と検討してまいります。
- 【議 長】 質的に少しでも向上できるようにするためには、方針を立てて、年度当初に事業方針をしっかりと持ち、たえず確認しながら、目標値に向けて努力すればそれなりの答えは出てくるのではないですか。
- （回 答） 昨年度、図書館協議会で審議していただいた、図書館運営方針がありますので、あとはこの方針に向かって進めていくだけです。
- 【意 見】 水道端図書館では、朝日グラフや早川文庫が創刊号から全巻そろっていました。図書館の運営方針に基づいて長期に渡って受け継がれてゆく。そのことで図書館の特色が出てくることを知りました。市民へ開かれた図書館ならば、私たちもただ市の努力行動を見守るだけでなく、支援なり、関わっていく必要があるのではないのでしょうか。市もPRをより一層市民に行い、どんな事をしているのか公開してくれると、市民の関心も高まるのではないのでしょうか。鎌ケ谷市の図書館が本館と5分館とで機能しているのであれば、互いの役割分担を持たせ、それをもっとPRする事によって市民との接点が多くなるのではないかと思います。
- 【議 長】 いま分館の役割という発言がなされ、私も分館の役割も必要だとつくづく思います。これまでは、各市の視察は行いました。今、振り返って見ると、今度は市内の視察も大事かと思います。
- 【回 答】 もし委員の皆様がよろしければ、一度、市内の分館は5館ございますが、

見ていただくと、理解が深まるかと思いますが。

【意見】 分館へ急に行くと、分館職員や来館者を驚かすのではないですか。日常の分館を見るにはふらっとバラバラに行かれた方がよいのではないですか。

【回答】 次回会議は平成23年2月13日の月曜日です。この日は、図書館は分館も含めて休館なので、職員・来館者はおらず、ゆっくり視察は可能です。

【意見】 視察日程を新たに設けるのではなく、協議会の日程でなされた方がよいのではないですか。

【事務局】 市内5館を回りますと、約1時間半を要します。

【議長】 やはり一度皆さんで、分館も見てもらい、その上で、鎌ケ谷市の図書館は、どのようにしていったらよいのかの意見を寄せていただき、市へ提言していきたいと思います。

【意見】 確か図書館には本のバスがありましたよね。

【事務局】 前年度で「予約貸出巡回サービス」は廃止となりました。バスはずっと前に排ガス規制により廃車しており、普通公用車での配本でした。利用者がほとんどなく廃止となりました。

【意見】 さきほどの説明で市域は、5km×4km。そして5館ということは、鎌ケ谷市も約1kmに1館ありますね。別に視察先で感動する事ではなかった。

【意見】 鎌ケ谷市の分館は「下駄履き図書館」で、本館が分館をフォローする構成の図書館なのですか。

【回答】 そうですね。特色を分館に持たせるという話もあったのですが、一分野に特化した図書館は、逆に品揃えが悪く利用しにくい面もあります。

【議長】 「専門」という言葉ではなく、キャッチフレーズ的に「こんな図書館をめざします」って言った方がわかりやすく、利用しやすい印象を受けるのではないのでしょうか。

【意見】 「高齢者や生涯教育を支える図書館」と言うのはどうでしょうか。

【議長】 行政の公務員が使う言葉でなく、「一般の市民が分かりやすい言葉」がいいのではないのでしょうか。

【課長】 委員の皆さまにご検討願ひ、意見を承る期間は来年度いっぱいと予定しております。来年度末頃までにまとまればと思っております。

……………（ 議論集結 ）……………

【議長】 それでは議論は集結して、会議次第の「第6その他」に移ります。

【事務局】 配布した資料は充分読んでいただき、取扱に注意願ひます。特に仕分け議事録は今後の議論で共通の認識を持つために配布しております。水道端図書館の視察資料は今後、視察先にお礼文と共に郵送いたします。

【意見】 これまで議論した「指定管理者制度か長期委託契約か」の方針は、どうなりましたか。

【課長】 現在、指定管理者ではなく、長期委託契約を進めていく方針で決裁中です。実は10月に事業仕分けがあったので、その結果を受けてということになり遅れています。

【議 長】 それでは、次回の会議は平成24年2月13日(月)に分館5館を視察するという
ことで事務局でも手配をお願いします。
以上もちまして、本日の会議を閉会します。ご苦労様でした。

————— 閉 会 —————

平成23年12月20日

議事録署名人 瀬田 信之 印

議事録署名人 渡辺 みどり 印